

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	亀田幸英	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	東辻	中西
	前田					

文化財名	面不動鍾乳洞					
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1979年(昭和54)3月23日					
所在地	吉野郡天川村洞川673-89					
所有者 管理者	洞川財産区					
員数						
時代区分	不明					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	駐車場から鍾乳洞への登り口に奈良県の説明板が設置されている。					
公開	不定休だが公開(入洞料@450円は必要)					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ()					
当面の課題	洞内の14ヶ所の見どころスポットにはカラー照明が灯り見やすく工夫されている。特に課題は見当たらない。					
今後の課題	素朴な疑問として、営業時間中の照明や多数の人間が入洞することで、今後の洞内環境に与える変化はないのだろうか？					
その他 (由緒など)	この鍾乳洞は、面不動山の南斜面の中腹にあり、昭和8年橋本廣吉氏によって発見された。洞口は一箇所、洞の長さは約280m、洞室の大きなものは径約5~6m、高さ10m以上に達する。鍾乳石及び石筍の生成過程を研究する上で貴重である。(奈良県の説明板他より)					
コメント	鍾乳石や石筍が1cm伸びるのに百年とも二百年とも必要と言われる貴重な自然遺産を大切に守ってほしい。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

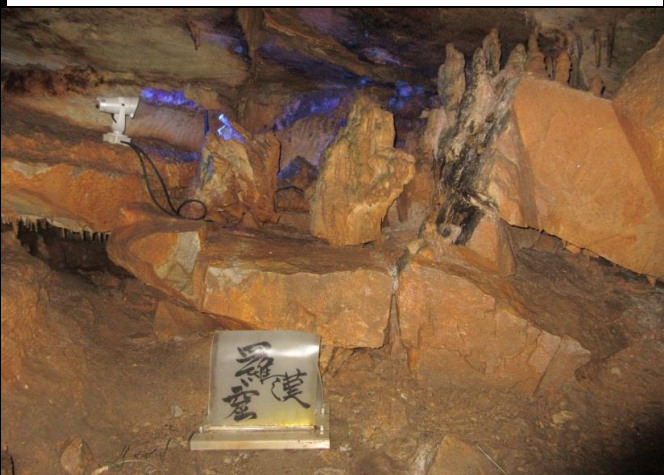
調査日	2020 年	8 月	22 日	記入者	亀田幸英	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	東辻	中西
	前田					

文化財名	面不動鍾乳洞
------	--------

面不動鍾乳洞の入口	入口からすぐに表れる「天の花園」
-----------	------------------



右手上方に羅漢像らしき石筍が多数ある「羅漢窟」	洞内から発見された動物の骨(千年以上前)の展示
-------------------------	-------------------------



貴重なストロー状の鍾乳石がある「銀糸の窟」	奈良県の説明板
-----------------------	---------

